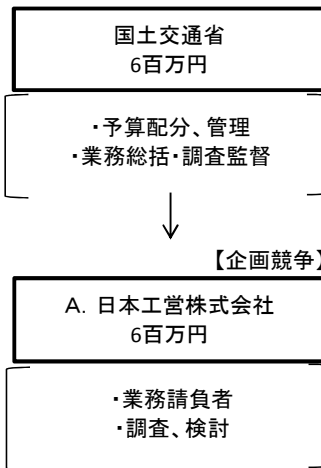


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	環境負荷低減に資する交通需要マネジメント導入支援の検討経費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部署	道路局		担当課室	道路交通管理課 高度道路交通システム推進室		室長 大庭 孝之
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年にCO<sub>2</sub>排出量半減(21世紀環境立国戦略)等の政策実現に向けて、環境負荷低減に資する交通需要マネジメントによる道路交通の最適化が求められている。そこで、情報通信技術(ITS等)を活用した最適な交通需要マネジメント手法を先進国の例を踏まえつつ検討する。</li> <li>・また、途上国等に向けた環境負荷低減に資するITS展開の方向性の検討を実施する。</li> </ul>					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省におけるITSを活用した交通需要マネジメントに関する政策立案のため、先進国における環境負荷低減対策としての先進的な交通需要マネジメント実施状況等を調査・整理し、各事例に関し、国内における導入の可能性、導入方法を検討するにあたり必要となる調査、資料整理を行った。</li> <li>・また、環境負荷低減に資する我が国のITS技術の海外への導入支援についても調査・整理した。</li> </ul>					
実施状況	<p>&lt;平成21年度の実施状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の関係者との連携等により、先進国における環境負荷低減に資する施策について、その効果を含め網羅的に整理し、それらの施策体系を踏まえ、途上国等(特にアジア諸国)における環境負荷低減に資するITS技術の導入状況を整理した。</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	7	-	-
	執行額	-	-	6		
	執行率	-	-	90.3%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。</li> </ul>				
	見直しの 余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度には、先進国でのIT技術を活用した交通需要マネジメントの改善方策及び途上国等でのITS技術の導入状況について調査した。今後は、我が国の交通需要マネジメントの改善、途上国等に向けた我が国のITS技術の展開に向けた具体的方策の策定が必要。</li> </ul>				
予算 チーム 監視 の 効 率 化						
補 記	<p style="text-align: center;">(予算額) (決算見込額)</p> <p>062 道路交通円滑化推進費 95016-2123-09 道路交通円滑化推進調査費 7百万円 6百万円</p>					



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A. 日本工営株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	環境負荷低減に資する交通需要 マネジメント導入に向けた調査検 討の実施	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0